■ 廃棄方法

◯ご不要になった使用済み充電池は放置したり、一般ゴミと一緒に捨てないでください。
◯廃棄方法はお住まいの自治体の収集方法に従ってください。

■ アフターサービス

お買い求めいただきました本製品は万全を期して製造しておりますが、万一不備な点がございましたら、お買い求めいただいた販売店、もしくは下記の弊社窓口までご連絡ください。
製造上の欠陥による不具合の場合は無償で交換させていただきます。なお、修理、交換等の要否につきましては、弊社の裁量にて判断させていただきます。
なお、以下のような原因での破損、不良につきましては保証いたしませんのでご了承ください。

◯本製品の誤った使用方法によるもの　◯間違ったお手入れ、保管方法、経年変化による素材劣化
◯乱暴な取り扱いによるもの　◯その他、製造上の欠陥以外の原因によるもの

破損時は弊社にて診断をして、修理が可能な場合はご要望により有償にて修理をさせていただきます。

■ 仕様・サイズ

品　　番：#1824234
品　　名：バイオライト ベースキャンプ
材　　質：ステンレス鋼、鋳鉄、プラスティック
本 体 重 量：8.16kg
寸　　法：高さ38cm（脚を折り畳んだ状態）、高さ59cm（脚を伸ばした状態）
USB出　力：5W@5V（連続出力）
内 蔵 電 池：2200mAh（3.7V）リチウムイオン電池
耐　荷　重：5kg
付　属　品：ファイヤースターター（着火材）、燃料ラック、灰受けトレー、USBグースネックライト
※携帯電話・スマートフォンなどの充電用ケーブルは付属していませんので別途ご用意ください。

Li-ion

■ その他

本製品の仕様、デザインは予告なく変更されることがあります。また、重量などのスペックには誤差が生じる場合があります。

株式会社モンベル　本　社　〒550-0013 大阪市西区新町2-2-2　Tel. 06-6531-3544　フリーコール：0088-22-0031
商品についてのお問い合わせはカスタマー・サービスまで　モンベルホームページ　http://www.montbell.jp

07-336-1409

BioLite
取扱説明書

バイオライト ベースキャンプ

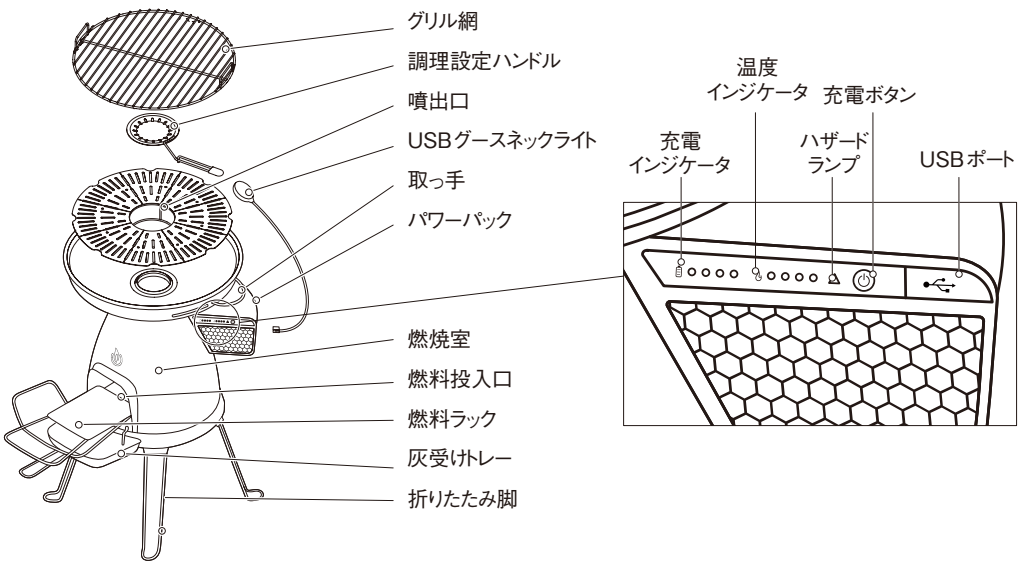
BioLite Base Camp

この度はお買いあげいただき、誠にありがとうございます。この取扱説明書（以下「本説明書」といいます）は本製品の正しい取扱方法を説明しています。ご使用の前に本説明書をよくお読みいただき、正しい使用方法をご確認ください。
なお、ご不明な点等ございましたら、販売店もしくは（株）モンベル カスタマー・サービスまでお問い合わせください。本説明書は大切に保管してください。

■ 特長

本製品は小枝や小さな薪などを燃料として、調理が可能なストーブです。燃やす際の熱を利用して発電し、燃焼効率を向上させる電動ファンを起動します。また、余剰電力はUSBポートを通じて外部機器の充電に利用することができます。電力は内蔵の充電池に蓄電できるため、本製品を燃焼させていない時にも外部機器の充電が可能です。

■ 各部の名称



■ 安全上の注意 必ずお読みください

⚠ 危険 人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容です。

一酸化炭素の危険性

○本製品は風通しのよい屋外で使用してください。テント内、車内、室内など、換気ができない場所では絶対に使用しないでください。燃焼によって一酸化炭素が排出され、一酸化炭素の吸入により死亡または脳障害を引き起こす可能性があります。

爆発・火災の危険性

○本製品は、木材や松かさ等を燃焼するように設計されています。液体、ジェル、プラスチックやその他の燃焼促進剤は絶対に本製品に入れないでください。

○使用中は非常に高温になり、炎の近くに可燃物があると引火する可能性があります。可燃物は、本製品から横に半径50㎝以上、上に120㎝以上離してください。

○本製品はガソリンやその他の可燃性の液体や可燃性ガスから遠く離れた場所でご使用ください。

○炎が大きくなることがありますので、本製品を使用している間は絶対に側を離れないようにしてください。また、使用中は極力本製品を動かさないでください。

やけどの危険性

○燃焼中または燃焼直後は金属の表面が高温になり、触れるとやけどのおそれがあります。

○子供の手の届かないところで使用・保管してください。

○必ず水平で安定する場所で使用してください。また、不安定な設置状態では使用しないでください。

充電池の危険性

○パワーパックの中の充電池は、誤った使用や保管により火災、膨張、爆発、液漏れ、化学火傷の危険があります。これらの危険を防ぐために、充電池が腐食しないようパワーパックは水中に入れたり、水をかけないよう注意してください。

○パワーパックの中の充電池は、他の熱源から十分に離してください。また、強い衝撃、圧力、振動等にさらさないでください。

○パワーパックの分解・改造・充電池交換は行わないでください。充電池を充電できない場合は、販売店もしくは当社へお問い合わせください。

異常が見られた場合は使用を中止してください

○異臭、発熱、変色、変形などの異常が見られた場合は直ちに使用を中止してください。故障、破裂、発火、火災などの原因となる場合があります。

⚠ 警告 場合により人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
軽傷または物的損害が発生する頻度が高いことが想定される内容です。

○ご使用前に可燃物や熱による影響を受けやすいものが周囲にないことを確認してください。また、乾いた草の上など延焼の危険がある場所では使用しないでください。

○強風下では使用しないでください。また、使用中に風が強くなった場合は直ちに消火し、使用を中止してください。

○使用中や使用後は本体が非常に高温になるので、手を触れないでください。調理の際は必ず金属製のトングや耐熱調理器具を使用してください。また、周囲の状況に注意し、お子様が近づかないようにしてください。

○使用中や使用後は本体が非常に高温になるので、USB機器などが接触すると破損するおそれがあります。USB機器は本製品から離して設置してください。また、本製品にUSB機器のケーブル類を差し込む際は、熱くなっている金属面に触れないようにしてください。

○燃料が多すぎる場合、本製品は火災の原因になり、火災が周囲に広がるおそれがあります。

○油が多い食材を調理する際は引火のおそれがあります。調理器具に収まる食べ物の量をご用意ください。調理面に直接オイルスプレーを噴射することは火災の原因となりますので、使用しないでください。

⚠ 注意 人が障害を負ったり物的損害の発生が想定される内容です。

○本製品を収納する際は十分に温度が下がっていることを確認して収納してください。また、緊急時以外は本体に水をかけたりしないでください。急激に温度が変化し、破損・変形の原因になります。

○設置時や収納時は必ず両手で行ってください。乱暴な取り扱いはケガや本体の破損の原因となります。

○使用により変色や歪みが発生することがありますが使用に支障はありません。

○本体にサビが発生することがありますが使用に支障はありません。

○本製品は防水仕様ではありません。

○お子様の手の届かない場所に保管してください。

○本製品から灰を取り除く際は細心の注意をはらってください。本製品と灰は高温なので不注意に触るとやけどの原因になります。灰が再発火して火災を発生しないよう、適切な方法で始末してください。

○公園や河川敷などの公用地やキャンプ場などの管理地で使用する場合は各自治体や管理者に確認して使用してください。

○焚火や火気類の使用が禁止されている場所では絶対に使用しないでください。

■ 使用前の点検

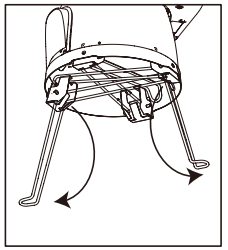
使用にあたっては、毎回必ず次のことを確かめてください。

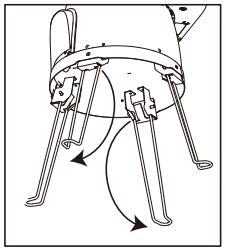
□**破損箇所がないか**　□**パワーパックの温度インジケータなどが正常に作動するか**

■ 使用方法

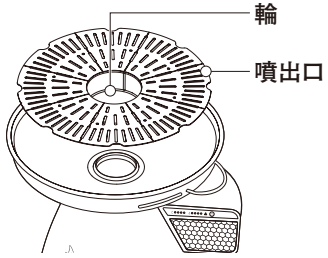
○ セットアップ

❶本製品の底にある4ヶ所の脚を完全に開きます。



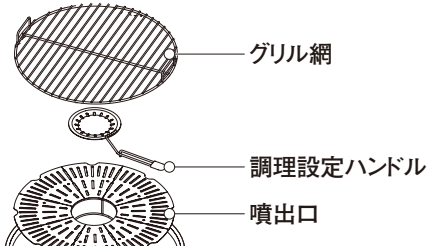


❷輪の部分を下にしてコンロの上部に噴出口を取り付けます。

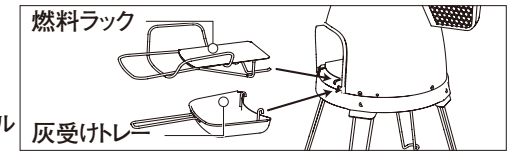


⚠ **本製品を使用する際は脚を完全に開いた状態で使用してください。脚を完全に開かずに使用すると、不安定になり、転倒などのおそれがあります。また、本製品の底部が地面に触れ、火災などの原因となることがあります。**

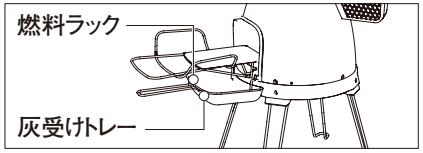
❸調理設定ハンドルの 凸側を上にして、コンロの上部にある側面の穴に挿入し、グリル網をコンロの上に置きます。



❹燃料ラックの突起部を燃焼室の内側にある2箇所の穴に挿入して燃料投入口に取り付けます。また、外側にある2箇所の穴に灰受けトレーを取り付けます。



⚠ **燃料ラックと灰受けトレーは正確に取り付けてください。燃料投入口に対して垂直に取り付けられているのが正しい状態です。**

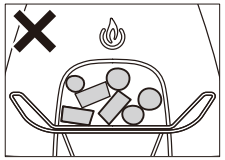


○ 着火方法

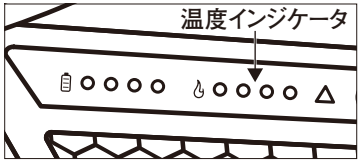
周りに可燃物がなく、水平で安定する場所に本製品を置いてください。周りに乾燥した芝などがある場合は、燃え移らないよう取り除いてください。また、万が一の場合に備え、近くに水を用意して、すぐに消火できるようにしてください。

❶本製品の燃焼室の中に焚き付け用の乾燥した燃えやすい燃料（小枝など）を入れてください。※【使用する燃料と火の起こし方について】参照。

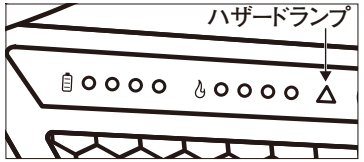
❷空気の流れを良くするために枝を均等に配置して着火してください。



❸パワーパックの上部の温度インジケータにより、燃焼温度を確認することができます。温度が上昇するとファンが自動的に動きだします。ライトが1つ点灯している場合は低温、4つ点灯している場合は非常に高温であることを示します。



❹温度が高すぎると、パワーパックの上部のハザードランプが点灯します。その際は燃料を少なくするなどして、燃焼を弱めてください。また、燃焼を弱めても点灯が消えない場合は内蔵ファンに問題が発生した可能性がありますので、使用を中止してください。



❺うまく着火したら大きめの乾燥した燃料を追加してください。火の勢いを保つために5～10分おきにストーブの入り口から内側に燃料を押し入れてください。

❻ BioLiteBaseCampの技術により非常に効率的な火が起こせるため、コンロから強い炎を出す必要はありません。パワーパックのオレンジ色の温度表示で調理および充電に必要な温度か確認してください。

❼ 燃焼中は、ストーブの入口に灰が溜まります。耐火ゴテまたはスコップで20～45分おきに灰を取り除き空気の流れを保つことで、炎の熱が一定に保たれます。また燃料を容易に補給しやすくなります。

⚠ **本製品の金属部分は非常に高温になります。本製品が高温のときや燃焼しているときは、絶対に持たないでください。**

使用する燃料と火の起こし方について

乾燥した広葉樹が燃料に最も適しています。煙が大量に発生するので生木は使用しないでください。

燃えやすい燃料 乾いた小枝を削ったもの、バーチ（カバノキ）の樹皮

焚きつけ燃料 乾いた小枝

※乾燥した高密度の燃料は、高温で長く燃焼します。（ナラ、カシ、カエデ、モミ等）

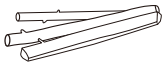
火を起こす

最初に火を起こす際は小枝および小さな焚きつけを使用してください。大きな枝を使うと煙が大量に発生し、火を起こすことが困難になります。付属のファイヤースターター（着火剤）を使用するとより簡単に火を起こすことができます。火を起こす際に液体の燃焼促進剤を使用しないでください。

火の勢いをつける

いったん火がついたら、大きな枝または薪木を本製品の燃料投入口に足します。底にたまった炭により本製品全体の温度が上昇します。

火の勢いを保つ



火の勢いが続き、底に炭が十分にたまってきたら、直径約4センチまでの大きな枝または割った薪木を使用してください。ただし、燃焼室に燃料を入れすぎないでください。多すぎる燃料は燃焼効率を低下させます。

⚠ **燃料が多すぎる場合、火災の原因になり火災が周囲に広がるおそれがあります。**

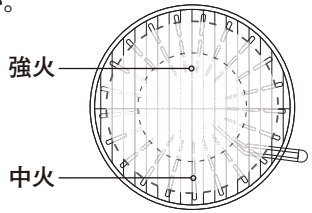
⚠ **本製品から灰を取り除く際は細心の注意を払ってください。本製品および灰は高温なので不注意に触るとやけどの原因になります。灰が再発火して火災を発生しないよう適切な方法で灰を始末してください。**

○ 調理方法

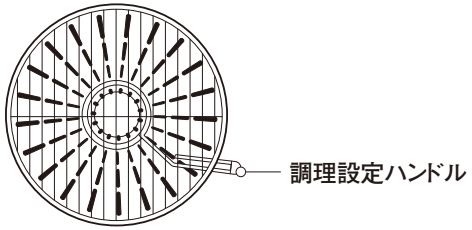
❶グリル網を使用する際は、少なくとも10分以上加熱してください。

❷火の勢いを保つため、燃料投入口から常に燃料を補給してください。

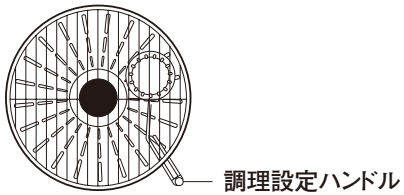
❸本製品には主に2つの温度域があります。強火で調理する場合はグリルの中央に、中火で調理する場合はグリル網の隅に食材を置いてください。



❹グリル網を使用する際は、調理設定ハンドルが本製品の中心にあり、分散した炎によりグリル網が加熱されていることを確認してください。



❺鍋やフライパン（別売）を使用する際は、調理設定ハンドルをスライドさせ、炎が本製品の上部一箇所に集まり、グリル網の中心で鍋等を沸かせるようにしてください。



⚠ **耐荷重（重量5kg）を超えた調理器具を使用しないでください。**

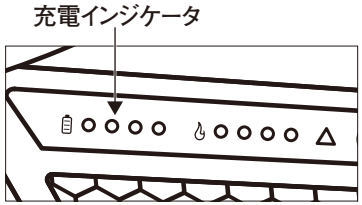
⚠ **使用中は本体が非常に高温になるので、手を触れないでください。調理の際は必ず金属製のトングや耐熱調理器具を使用してください。**

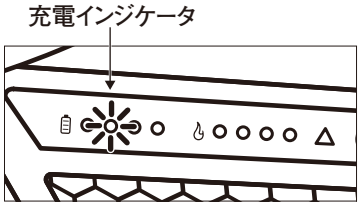
⚠ **油が多い食材を調理する際は、引火のおそれがあります。調理器具に収まる量の食材を載せてください。**

○ 外部機器への充電方法

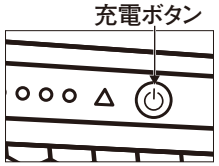
❶充電インジケータは内蔵バッテリーの充電レベルを表示します。25、50、75%を表示し、右端が100% のフル充電を表示します。

❷強火で約10分間使用すると充電インジケータが点灯します。最低2個の充電インジケータが点灯した時点で、USB機器への充電を開始することができます。





❸充電する機器のUSBケーブルをUSBポートに接続し、充電ボタンを押してください。燃焼の強弱によって外部出力も変わります。出力を最大にするためには、燃料を十分に入れて燃焼させてください。
※携帯電話・スマートフォンなどの充電用ケーブルは付属していませんので別途ご用意ください。



・パワーパックは発電した電気を蓄電できます。燃焼していない時に充電する際は充電ボタンを押してください。

■充電インジケータが点灯していない時点で外部機器を充電するとパワーパックが破損するおそれがあります。
■分配機を使用して2種類の外部機器を同時に充電しないでください。
■燃焼状況や外気温によって充電できるようになるまでの時間は大きく変化する場合があります。また、本製品を6ヶ月以上使用していない場合は、内蔵電池残量が少なく、充電できるようになるまで、より長い燃焼時間を要します。
■本製品は、強火の状態で5Wの電力が発生し、USBで充電できる以下の機器を充電することが可能です。
・携帯電話 ・スマートフォン ・MP3プレーヤー ・LEDフラッシュライト ・ヘッドランプ ・充電池・タブレットなど
■燃焼や気温によって充電能力は変わります。
※すべてのメーカーのUSB充電対応機器への充電を保証するものではありません。
※携帯電話やスマートフォンなどの電池残量が少ない場合は満充電にすることが出来ない可能性もあります。また、電池残量がない場合は充電できないことがあります。

⚠ **USBケーブルをUSBポートにさし込む、または引き抜くときは、やけどのおそれがありますので金属の表面に触れないよう十分注意してください。また、充電中に電子機器に炎や火花、調理中の食べ物等が飛ばないよう、なるべく遠いところに置いてください。**

○ USBグースネックライト

USBグースネックライトは、調理をするときに手元を照らします。照明を使う場合は、充電ボタンを押してUSBポートに挿してください。照明を使用している間も外部機器を充電することができます。※外部機器の種類のよっては対応していないこともあります。

○ 消火・収納方法

❶消火してから、本製品が完全に冷却されるまで約15～20分必要です。

❷灰になるまで燃料を全焼させ、金属製のスコップなどを使用して燃料投入口から灰を取り除きます。火がくすぶっている場合があるので、必ず灰に水を注いで完全に消火してから土をかぶせてください。冷却のためにファンは回り続けます。

❸燃料ラックと灰受けトレーを取り外します。

❹取っ手を掴み、本製品を持ち上げ、足を内側へ折り畳みます。

⚠ **本製品の部品を保護するために、本製品に絶対に水をかけないでください。**
灰を捨てる時は、水をかけて必ず完全に消火したことを確認してから土をかけて埋めてください。
完全に消火されていないと引火して火事の原因となり、大変危険です。

■ よくある質問

■煙の多い炎が出るのですが?
・火を起こすのに必要な小さな焚きつけおよび小枝を使用してください。
・なるべく乾燥した燃料を使用してください。
・本製品に燃料を入れすぎないでください。燃料を減らすと空気の流れが良くなります。
・風の強い場所は避けてください。

■炎が高すぎる/強すぎるのですが?
・燃え尽きるまで5～10分待ちます。または、本製品の入口にある燃料を1～2 本取り除きます。取り除かれた燃料はまだ燃えているので細心の注意を払ってください。取り除いた燃料は直ちに消火してください。

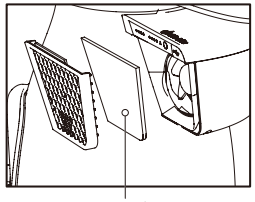
■燃料ラックの入口の外側で発生した炎はどうしたらいいでしょうか?
・新しい燃料を追加できるよう灰を取り除いてください。
・燃料ラックの入口の内側に燃料を押し込んでください。
・燃料を入れすぎないでください。
・直径が小さい燃料を使用してください。

■外部機器が充電されないのですが?
・外部機器の説明書を参照し本製品の充電能力の仕様に対応しているかを確認してください 。
・充電インジケータを確認します。炎が強いほど充電の準備が速くできます。熱さが十分でない場合は、空気の流れる余裕があり、燃料が適切に配置されていることを確認してください。
・充電インジケータを確認して、2個より少ないインジケータが点灯している場合は、充電池の容量がありません。
・本製品を6カ月以上使用していない場合は、充電前に通常より長い時間が必要になります。
・充電インジケータが2個以上点灯しているにかかわらず充電されない場合は、USBケーブルを確認してください。
・USBケーブルが機能しているしているにかかわらず充電されない場合は、当社までお問い合わせください。

■ お手入れ方法

間違ったお手入れ方法や保管方法は本製品の寿命を縮めます。
使用後や保管時は以下の点を参考にしてください。

○グリル網や噴出口を水洗いし、ワイヤブラシなどで汚れを落とします。洗浄後はよく乾燥させ、風通しのいい場所で保管してください。
○パワーパックや燃焼室は湿らせた布などで汚れを拭いてください。
直接水洗いはしないでください。
○キズや破損等がないかを確認してください。
○ゴミが付着している場合はパワーパックのフィルターを掃除してください。



■ 保管方法

○雨露、粉塵、直射日光、紫外線、高温、多湿を受けることがない、風通しの良い乾燥した場所（0℃～40℃）で保管してください。
○直射日光に曝される車の中などの高温となる場所に本製品を放置しないでください。変形や損傷の原因になります。
○子供の手の届かないところに保管してください。
○パワーパックに火気を近づけたり、ショートさせないでください。
○保管中に充電池は使用しなくても自然に放電します。長期間使用せずに保管していた場合は、通常より10分ほど長く燃焼させ、内蔵充電池を充電してください。